

「2012 ドイツ持続可能賞」の受賞について

仙台市環境局環境部
環境都市推進課

仙台市が市民とともに進めている震災復興への取り組みが、市民参加に基づく持続可能な都市づくりの模範となるものと高く評価され、ドイツ持続可能賞ファンデーション*が主催する「2012年ドイツ持続可能賞」の「名誉賞」を奥山市長が受賞した。名誉賞の受賞は日本人では初めてとなり、賞の授与式は、2012年12月6日（木）（現地時間）にドイツのデュッセルドルフで開催される。

※ ドイツ持続可能賞ファンデーション

弁護士・科学ジャーナリストであるシュテンファン・シュルツェハウスマン氏の呼びかけで、持続可能な開発を支持するドイツ大手企業等の支援により設立。団体理事会は企業経営者をはじめ、ドイツ連邦政府、NGO等により構成されている。

1. 市長の受賞理由（ドイツ持続可能賞事務局発表）

仙台市は2011年の津波で甚大なる被害を受けた。奥山市長は、仙台市の危機管理の最高責任者として、様々な側面から地域の問題を解決する立場におられたが、被災都市を真に持続可能な方法で復興するという革新的な計画をもって、成すべきことを断行された。仙台市基本計画を補完する仙台市震災復興計画は、環境への配慮と持続可能なエネルギー供給という視点から防災対策をまとめている。計画では、特に「人々の力」に着眼し、市民参加という重要な問題をこれまで以上に訴えている。災難に立ち向かう奥山市長の取り組みは、今後大いに期待できるものであり、模範的と評価する。

2. 2012年「名誉賞」受賞者

ノーマン・フォスター（建築家（英））、アッヘム・シュタイナー（国連環境計画事務局長（独））、リヒャルト・フォン・ヴァイツゼッカー（ベルリンの壁崩壊時のドイツ連邦共和国の大統領（独））、奥山恵美子仙台市長

3. ドイツ持続可能賞について

2012年で5回目の開催となるドイツ持続可能賞（German Sustainability Award）は、ドイツ持続可能賞ファンデーションにより、社会的・生態学的責任の受容を促進し、その模範的人物、団体を認めることを目的として2008年に設立された。

受賞対象は、持続可能な社会のアイデアを促進した企業、都市、自治体、個人で、毎年、アンゲラ・メルケル連邦首相、もしくは連邦大臣により授与される。このうち、名誉賞は国、国際レベルで持続可能性に多大な貢献をした人に授与され、賞金は授与されない。

4. これまでの主な「名誉賞」受賞者

チャールズ英国皇太子殿下（英）、ジェーン・フォンダ（女優（米））、ジェイミー・オリヴァー（料理人および食に関する活動家（英））、クリフ・リチャード（歌手（英））

5. ドイツ持続可能賞授与式

- | | | | |
|----------|----------|--------------------------|---------------|
| (1) 開催場所 | ドイツ | ノルトラインベストファーレン州デュッセルドルフ市 | |
| | | マリタイム ホテル | デュッセルドルフ |
| (2) 開催日時 | 12月6日（木） | 14:00～ | パネルディスカッション参加 |
| | | 18:30～ | 授与式 |